

ロイヤル・ワム・タウングループ

所沢ロイヤル病院はか3施設の
照明設備がLEDに

昨今、省エネルギーや地球温暖化対策は、世界的レベルで取り組まれている重要なテーマです。加えて日本では昨年の震災以降、特に節電対策の必要性が高まっています。

ロイヤル・ワム・タウングループでも、各施設で省エネ対策に取り組んできましたが、更なる節電効果を期待して、この春に経済産業省から募集のあった「建築物節電改修支援事業補助金」に申請を行い、照明設備をLEDに交換することにいたしました。



交換後のLED照明（老健所沢ロイヤルの丘）
外見上は既存の照明と大きな違いはありません



照明交換工事風景（所沢ロイヤル病院）

この補助金は、設備交換によって電力消費量が10%以上の節電効果が期待される施設が対象とされているため、試算と検討の結果、所沢ロイヤル病院、老健所沢ロイヤルの丘、平成の森・川島病院・そして老健平成の森について申請を行いました。結果、無事に4施設共に補助金の交付が決定、8月上旬に交換工事が終了しました。

現在、LED照明は一般電球型をはじめとして、ダウンライト型・蛍光灯型と各タイプが揃っており、既存の照明に合わせたタイプに交換をしています。またその際、LEDは光の直進性が強いので、患者様・利用者様が余計なまぶしさを感じない様に、照明の明るさ度合にも配慮をいたしました。

従来節電を実施するとなると、照明の間引きなどで施設内の雰囲気も暗くなりがちでデメリットがありました。今後LEDへの変換によって、施設内の雰囲気はもちろんのこと、照明の明るさも極力保ちつつ、より一層の電力消費の削減に貢献していきたいと思っています。

「学校・地域合同防災訓練」に参加して

平成24年7月26日（木）14時から、石巻市立広瀬小学校体育館で「学校・地域合同防災訓練が行われました。この、防災訓練は平成15年に「宮城県北部連続地震」（震度6強）が発生して、この地域

が甚大な被害に遭い、その教訓を忘れないようにと、毎年地域住民が中心となり行っています。今年は初めて夏休み中の小学生も加わり、消防署や救急隊員、当院からは看護師9名が参加しました。



次世代を担う子供達 キラキラと真剣なまなざしです



応急担架のづくり方指導



トリアージおよび緊急処置



トリアージおよび緊急処置

学生も初めての体験でしたが、『スムーズに降りられる』ことに驚いていました。煙道訓練は、実際には見ることはできませんでしたが、関係者の方に伺ったところ、消防隊員が作った煙の道を、上半身を低くして通り抜ける訓練のことで、煙道を通り終えた小学生はホッとした表情を見せていたと教えてくれました。30度を超える暑い中で、本番さながらの体験は「万が一の時に咄嗟に行動ができ、自分の身は自分で守ることに繋がる」と思いました。

訓練の終りには、婦人部が吹き出ししてくれた、カレーライスをいただきました。熱々のカレーライスは、避難所で不安な思いをしながら過ごす人々の気分が、少しでも紛れるようにという願いが込められているような感じがしました。短い時間ではありましたが、初めて防災訓練に参加し、地域の方々と交流を持てたことで、石巻ロイヤル病院が、いつまでも地域住民から頼られ、貢献出来る病院でありたいと思いました。

訓練は、昨年の大震災と同じ震度7の地震が発生したことを想定し、緊急放送を行い広瀬小学校体育館に避難することから始まり、体育館では、地区住民の安全確認が貼り出され、瓦礫を想定したマットの中から救出する訓練や応急担架作り、トリアージ、応急処置、AEDの使い方、初期消火、煙道体験、バケツリレー訓練等が次々行われました。

小学生は消防隊員から、竹2本と毛布を使った応急担架の作り方を教えてもらい、作った担架で運ぶ役と、運ばれる役を体験し、私達は、次々と担架で運ばれてきた負傷者一人ひとりに、不安を抱かせないよう声をかけながら救護活動を行いました。包帯を巻かれた小学生は、包帯を巻くことにも興味を持ち、私たちの説明の下で友達に包帯を巻いてあげており、おぼつかない手つきで一息懸命に包帯を巻こうとする姿に心を打たれ、少しでも上手に巻けるよう私達の説明にも力が入りました。

これらの訓練の合間に、私達は分担を決めて、避難者に服薬の有無やインスリン治療、透析治療等の確認を行い、さらに、避難所での生活の注意事項を説明してから、エコノミー症候群予防の体操を一緒に行いました。



参加した看護師です。汗をたっぷりかいて化粧崩れが激しいため、遠まきで・・・ハイポーズ！

医療法人啓仁会 石巻ロイヤル病院

回復期リハ棟 主任看護師 相澤 珠巳

医療法人社団 隆豊会
豊川さくら病院

豊川さくら病院理事長 杉

グラウンドゴルフ大会

5月10日（木）快晴の下、豊川市新道公園グラウンドにて『豊川さくら病院理事長杯グラウンドゴルフ大会』が行われました。

月晴れの下、時折強風に苦戦をしいられたり、逆に風を味方にしたりと皆さん元気にグラウンドを行き来していました。ゲームは、グラウンドゴルフ大会ルールに則り青8ホール・赤8ホールの16ホールストローク戦で行われました。午後12時50分に笛の合図と同時に、ゴルフのショットガンスタート方式で一斉スタートしました。

した。上手な方が多く上位者の中にはホールインワンも飛び出すなど今年は36人のホールインワン達成者が出ました。中には一人でホールインワンを3ホール出した方もいました。

最終結果は、総打数40打ホールインワン3ホールの市田クラブ・白井金次さんが見事優勝、2位には37打のベストグロスを出しながらホールインワン2ホールの中部クラブ・小野守さんが入り、女性陣では39打ホールインワン1ホールの八幡クラブ・安井ひさゑさん

●グラウンドゴルフとは

昭和57年に鳥取県東伯郡泊村生涯スポーツ活動推進事業の一環として、泊村教育委員会が中心になり考案されました。高度な技術が必要とせず、しかも全力を出す場面と集中力や調整力を発揮する場面がうまく組み合わさっており、ルールもごく簡単なことから、初心者でもすぐに取り組めます。

地域支援室 神谷 一雄



優勝した白井金次さんに竹下院長よりトロフィーが授与されました



118名もの参加者があり大盛況でした



写真中央左は老健相談員の竹内あさ美さん

2ホールの中部クラブ・小野守さんが入り、女性陣では39打ホールインワン1ホールの八幡クラブ・安井ひさゑさん